一般質問

デイサービスセンターは利用者の期待に応えているか

金子克己　議員

質問　国勢調査が10月1日に実施される。結果は国の今後5か年の諸政策の基礎として生かされる。市における過去の調査結果は、急激な過疎化、そして少子高齢化は市民の不安を募っている。平成12年調査の高齢化率は全国平均は17・5％で佐渡市は倍の32・1％と開きがでている。また県の17年度推計で佐渡市は34・4％、県平均22・4％と12％の開き、市内地区別では羽茂38％、畑野37％、赤泊と相川36・9％で新穂・真野・両津は16年3月時点で34・4パーセントとなっている。65歳以上2万3837人のうち一人暮らし高齢者3983人。要介護等認定者数は3445人で、要支援502人（14％）要介護1877人（25・5％）要介護二・三・四各14％、介護度五595人（17・2％）と公表、実数字に基づく少子高齢化施策の計画・実施は重要。国勢調査の万全を求める。

在宅介護補完施設デイサービスセンターは、利用者の期待に応えているかを問う。施設は満員と言いながら空きがあり、また利用率で施設間格差があるのはなぜか。

市長　現在直営・法人経営16施設で342人定員、利用回数は一人月当り3から6回、地域に合わない定員枠の甘さや、多種利用する介護保険の関係や、施設利用者が当日病気で辞退するため等々により、利用率に差が出ている。

質問　施設利用定数に対し毎日平均44人分の欠が数字として出ている。利用者は週3回を希望、利用率100％の施設は、当日辞退者に代わる利用者の呼びかけに努力している。施設設置の当初の目的を忘れないで指導すべきではないか。

市長　指摘された数字に相違はない。各施設と相談し指導していきたい。

質問　真野西三川地区に建設予定のデイ施設の建設場所・進入道等の経過と概要、定数15名が適当で運営できると考えているのか。エリア内の小泊地区説明はいらないと考えて開催しないのか。

市長　地域交流・保育合築小規模デイ施設を平成18年建設を計画、西三川地区集落の理解で旧西三川中学校跡地を考え、道路改良と排水路について地区の協力をいただけるものと考えている。定数が適当か再協議する。計画時、旧羽茂町長に説明はしたが、小泊・村山・亀脇集落に早急に説明し理解を得たい。

質問　佐渡にしかできない福祉特区構想は協議しているか。

市長　指示をして検討しているが、具体的にまだ提示できるものがない。